

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくましい生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中だより

☐ 照不足で米や野菜の生育が良くないようです。学校でもトマトやゴーヤなどを育てているクラスがありますが、収穫が今一つようです。我が家のキュウリも、今年はずいぶん早く収穫を終えました。

◆ 生徒会役員選挙 (9/12) ◆

1年生4名、2年生14名が立候補しました。



立候補者と応援責任者もあいさつ運動に参加しました。



立会演説会

立候補者全員が、学校を変えたい、自分を変えたいという思いで立候補したと思う。その気持ちは、たとえ当選しなかったとしても無駄にはならない。

こんな話を演説会の前にしました。苦勞して公約を考えたことや演説をした経験は大きな財産です。推薦責任者の人たちもいい仕事をしてくれました。

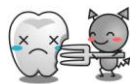
◆ 吹奏楽とソーランで地域の方へ恩返し(9/14・15) ◆



☐ 桜並木から少し入った所にある介護事業所「まきばの園」で夕涼み会が催されました。ホールもベランダも利用者のお年寄りやお客さんでいっぱい。吹奏楽部の3年生が、良く知られている曲を中心に10曲ほど演奏しました。近くなのに、初めてお邪魔しました。

☐ 細野小体育館での細野区敬老会。実行委員を始めとする24人が細野小6年生20人とホソノソーランを披露。招待された75歳以上のお年寄りが170人、お手伝いの婦人会などの皆さんを加えると200人以上が見守る中、元気良く踊り、大きな拍手をいただきました。次は小学校の運動会です。

虫歯の治療率 48% (9月16日現在)



1年69%、2年40%、3年43%です。夏休み前、松ヶ野先生(養教)が治療の大切さを何度も訴えていました。9月の段階としては、近年で一番良い数字らしいです。昨年度は最終的に55%でした。今年度の目標は全校で60%越えです。

◆ 柔道の授業 (9/9~17) ◆



昨年に引き続き、県の柔道コーディネーターで、宮崎大学や都城高専でも講師をされている下野勉先生のご指導を受けました。各クラス2時間ずつ、座礼や立礼、足の運び方、受け身など、基本を中心に教えていただきました。ちなみに先生は柔道7段だそうです。

// やってはいけない叱り方 //



中国、明の時代の哲学者、呂坤(りょこん：1536~1618)の著書「呻吟語」(しんぎんご)に、叱る側が犯してはいけない六戒があります。400年ほど前の書ですが、現代でもよく指摘される内容を含んでいます。

- ① その忌いむる所を指南する事なかれ
本人が嫌がることを、グサリと言ってはならない。能力や努力を否定するようなプライドを傷つける言い方をしない事。
- ② 尽(ことごとく)その失う所を数うることなかれ
本人の欠点を、洗いざらい数えだててはいけない。一つのミスを叱るのに、ついでにあれもこれもと並べ立てるのはダメ!この際だからと、まとめて言ってしまう。🐱🐱
- ③ 人に対することなかれ
〇〇さんはキチンと出来るのに、あなたは何で出来ないの? 兄弟姉妹や同級生と比べてはいないでしょうか? それぞれに得手、不得手はあるものです。🌟🌟
- ④ 喰直(しょうちやく)なることなかれ
喰直とは非常に厳しい事。厳しく叱りすぎると、相手を追いつめてしまう。どこかでフォローが必要ですね。
- ⑤ 長く言うことなかれ
いつまでもくどくど叱り続けてはダメ! 過去のミスも持ち出してあれこれと叱りたて、とどまるところがない最悪のパターン。反感や恨みを買うだけかも。叱るなら、短く、ビシッと!
- ⑥ 累(かさ)ねて言うことなかれ
同じことを二度叱るのも反感を買います。

6つの「なかれ」を読みながら、自分自身の叱り方を振り返っていました。叱るのは難しいですね。もう一つ、昔、先輩の教師に言われたこと…

人前で大声で叱責するよりも、二人きりで声のトーンを落として諭す方が相手に伝わる場合もある。

【お知らせ】 ☐ 足利さくらさん(1年)の作文が宮日新聞の若い目に掲載されました。本校が、県内の学校で唯一取り組んでいる服のチカラプロジェクト(着られなくなった子ども服を難民キャンプに送る運動)への決意を述べたものです。おめでとう!

☐ 17、18日の2日間、2年生54名が市内27箇所の事業所で職場体験を、18日には1年生30名が、「北きりしま田舎物語」のご協力を得て農業体験を行いました。また、3年生が小林高校と飯野高校の先生方の出前授業に臨みました。詳しくは次号でお伝えします。